

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	近例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												BSE	ABC Newsletter 2006年9月22日 16 ページ	欧州協会は2005年の反弱動物(有蹄動物)における伝 達性海綿状脳症(TSE)のモニタリングと検査に関する報 告書を発表した。TSE検査を行った1千万頭以上のウシの うち、陽性となったのは561頭のみであった。2005年の調 査結果は陽性例が引き続き減少していることを示してい る。
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	Science 2006; 314: 133-136	慢性消耗病(CWD)非感染シカをCWD陽性のシカの唾 液、血液または尿・糞に曝露させた。その結果、CWDを伝 播しうる感染性プリオンが唾液および血液中に認められ た。CWDはシカ科の動物に容易に伝播すると言え、プリ オン感染では体液との接触に関する注意が払われるべき である。
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	Vox Sanguinis 2006; 91(Suppl 3): 70	PRDT (Pathogen Removal and Diagnostics Technologies) は、全血、RBCまたは血漿存在下で、脳由来プリオンタン パク質およびTSE感染物と強く結合する高親和性リガンド を得るため、何百万もの化合物をスクリーニングした。そ の結果、PRDTのリード樹脂は赤血球存在下でも高濃度 のTSE感染物を吸着し、低濃度の内因性TSE感染物を除 去した。この樹脂を使用したMacoPharma P-Capt (TM) フィルタを用いることにより、輸血によるvCJD伝播リス クを軽減できる。
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	Lancet 2006; 368: 2061-2067	vCJDを発症した供血者の輸血を受けた患者が神経学的 徴候を発現し、National Prion Clinicへ紹介され、vCJDと 診断された後、MRC PRION-1 trialに登録された。患者が 死亡した際、剖検時に脳と扁桃腺の組織を得、免疫ブ ロッキング法および免疫組織化学検査により異常プリオ ンの存在を調べた。剖検により診断が確認され、扁桃腺 のプリオン感染が示された。扁桃腺の生検は、BSEプリオ ンの1次感染患者と同様、医師的嚥嚥を被った他の高リ スク患者においても、早期の症状発現前診断を可能にす る。